

令和5年度 今治市社協グループホームゆいの家 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	4～5月中
外 部 評 価 日	令和 5 年 8 月 2 5 日（ 金 曜 日 ）
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	民生児童委員協議会会長、地域住民代表、今治市役所大三島支所、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの里管理者、小規模多機能ゆいの村管理者等 計 1 3 名
開 示 状 況	利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示

令和5年度 今治市社協グループホームゆいの家 (自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記 述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所内に掲げているが、入居者の方の様子も変わってきているため、理念を改めて職員みんなで考えていきたいと思っています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○ D. ほとんどできていない	コロナ禍の中地域とのつながりが難しく、交流はまだできていない。交流の時期、方法などコロナの中での方法を考えていければと思います。	・無理しなくて良いと思います。 ・コロナがあるので、交流する時期は慎重に考えて、対策方法をした方が良いと思います。 ・同じ支部内の事業所で評価が違うものがありますが、施設間の情報交換、情報共有をしていってはどうでしょうか？施設ごとに施設のしつらえや利用者が違い、働く職員も違うので、全く一緒と言う事は出来なくても、それぞれの取組で良い所は取り入れて、改善したり、問題の解決にしても、他の施設の職員の知恵や発想で解決できる事があったりするのではないのでしょうか。少なくとも、各事業所の管理者の評価項目への認識は統一されるべきかと思います(※全項目共通) ⇒ 事業所自己評価については、それぞれの事業所でかかわっている職員の個々の評価を、それぞれの事業所評価としてまとめたものになります。当然、事業毎に話し合うそれぞれの項目のとらえ方や、取り組み方についても、異なってきます。サービスとして提供する内容に違いがあってはいけませんが、利用者さん一人一人のケアに対し、統一したかかわりは難しい為、評価内容については事業所毎に異なるものになってしまいます。 ・5類に移行したものの、以前の様な交流は難しいかと思います。お花見やお大師さんへの参加など、地域に出向く事で、地域とつながっていければと考えます。 ・いくら5類になったからと言っても、コロナはコロナ。祭りなど復活している所もあるが、まだ暫くは辛抱の時だと思う。地域に出向いて行けない事は、本当につらいと思う。 ・コロナの現状から、今後も困難が予測される。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	二か月に一度開催し報告を行っている。運営委員さんからの意見を事業所に持ち帰り自分たちの支援の取り組みにどのように生かしていくか話し合っています。	・良い(出来ている)と思います。 ・運営推進会議に出席させて頂いて、ヒヤリハット等の報告を聞いていると、利用者さんの安全第一という目的意識・問題意識が徹底されており、大変すばらしいと思います。 ・運営推進会議時には、丁寧な説明があります。		

					・運営推進会議の折、ヒヤリハットの報告を読み、職員は日々常に緊張の中にいる事に頭が下がります。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じて事業所を知っていただき、意見を頂いています。	・良い(出来ている)と思います。 ・運営推進会議や他の業務(介護認定や巡回相談)等の機会をとらえ、連携に努めています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束をしないケアを心がけているが、外歩きをされる方に対して、マンパワーがないと一緒に歩くという寄り添ったケアが難しい。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修受講やスタッフ間で、復命する等の取組を運営推進会議で報告を受けています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングのときにお互いのケアや言葉かけで気になるところは、話し合い、自分たちを見直す機会をもち防止に努めている。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会に参加し、知識を深めていきたいと思います。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に行っているが、十分理解できる説明が行えているかはわかりません。面会の時に利用者さんとの話をするときなどに不安・疑問に思うことを尋ね、説明を行っています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートを通じて家族さんの要望を聞き、運営に反映できるようミーティングの時に話し合いお便りで返答をしています。取り入れたい意見もありますが、現実実践するハードルが高いこともあり、意見を頂くだけになっていることもあります。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートをとる事で、広く意見を聞き取れるよう配慮されています。

10	運営に関する 職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング、日々の仕事のなかで意見・提案がでた時には、事業所長と話し合った結果を受け反映させています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福利厚生は充実されていますが、職員各自のやりがいや向上心をもって働けるような環境ができているかは難しいですが、職員各自の意識の違い、職員の高齢化もあると思います。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい職場の環境整備はとても大切な事だと思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	徐々にオンラインでの研修会に参加できてきました。ミーティングの時に疑問に感じたことを話し合い、またその事項の研修会に参加し知識を深め職場に持ち帰っています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加後、他の職員に伝達し、共有されています。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で交流会・研修会への参加ができなかったが、オンライン研修に参加し他施設の職員さんの意見・考えを聴く機会が持てているが、相互訪問研修はまだ取り組めていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の家事・料理・洗濯物干しやたたみなど、一人ひとりの方がどこまでできるかを知り、職員と一緒にすることで馴染の関係性を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○ D. ほとんどできていない	入所時に家族さん、本人さんから親しくされていた方や事柄を聴き途切れないよう支援の方法を考えますが、家族さん、本人さんもわからないことが多くなっているようで、馴染の関係が難しくなっています。	・入所してから、長くなると馴染みも変化があると思いますが、その辺はどうなっているのでしょうか？ ⇒家族や友人・知人、関係のある方との馴染みの関係については出来るだけ継続できる様支援させて頂いています。 ・コロナが終息したわけではありませんが、対策をとりながら、出来るだけ面会は続けて欲しいです。 ・感染対策を今後も継続する必要があるので、面会には今の対応で良いと思います。 ・久しぶりの施設訪問。馴染みの方に何人かお会いし、元気そうで、穏やかな表情に感動しました。大事にされているなど嬉しく思いました。 ・コロナの現状から、今後も困難が予感される。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族さんからの聞き取りが難しくなっているため、本人さんとの、日々の生活の中でのコミュニケーションを取ることで今までの生活環境や大事にして			

				きたことなどの希望や意向を把握し記録に共有できるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	課題・問題点を感じた時に職員、家族さんとケアついて話し合い、ミーティングで、具体的な支援の方法を話し合い作成しています。	・工夫されている(出来ている)と思います ・きめ細かな対応がされている。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にモニタリングを行い、対応されています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日評価を行う中で気づきや新たな問題点が出てきたときには、申し送り、その日のスタッフで話しあったことを個人記録・連絡帳に記載し共有していきます。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族・本人に新たなニーズが出てきたときには、できうる限り柔軟に対応しています。ストレスがたまったり、家に帰りたくて外へでてしまったりするようときには、自宅に帰ってもらったりしています。	・工夫されている(出来ている)と思います。 ・利用者各々のニーズに対する事は、本当に大変です。永年それぞれのスタイルで生きてきて、家族とも離れ、気ままが出て不思議ではない。事業所の柔軟な姿勢に感謝です。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの対処方法も変化してきており今後、地域資源を活用できるようになると思います。大きな枠組みでとら協働できる資源を活用していきます。	・良いと(出来ている)思います。 ・地域資源とは？ ⇒ 今まで、地域の行事や友人・知人イベントや住んでいる地域での個々を取り巻く環境等全般に、普段であれば当たり前に参加・関わる事ができる様な事等です。 ・コロナの現状から、今後取り組みは制限を受けると思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前からの主治医にお願いしていますが、状態の変化に伴い家族と話しあい医療機関を決めています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院・退院の時には、アセスメント・サマリーなど情報交換を行い、地域連携室、家族と共に連絡を取り合い相談しています。退院の時には、主治医より状態を聴き、病状で注意すべき点などを聴き、退院してからも疑問や質問などがあれば連絡しています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている	入所時に終末期に事業所でできること、できないことを話し、入所中に状態が変わった時には、主治医より医療の		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている	

	針の共有と支援	できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要性など家族さんに説明して頂、その時の家族さんの方向性を話し合います。また、その時々本人、家族さんの気持ちの変化や不安に思うことがあるときには、その都度話し合いを持つようにしています。また、職員の不安も大きいので、その時に考えられるリスクを主治医から説明を受け、観察点、症状を知ることにより職員の不安を軽減しています。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練はできていない。起こりえる急変、事故発生時のマニュアルを作成しミーティングの時に反復訓練を行い、実践力を身に付けることができるようにしていく。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナのなかでは、各事業所でミーティングでの机上訓練、利用者さんを交えての訓練でしたが、今年、3事業所で実際に訓練を行いました。今後は、地域と合同の訓練を再開していきたいとします。	・良い(出来ている)と思います。 ・避難訓練は継続して行ってください。 ・避難場所は決まりましたか？ ⇒ 地震による津波警報発令時は予定通りクルツラントカレーパンへの避難を予定。その他の自然災害については各事業所待機予定です。 ・定期的な訓練は大切だと思います。 ・食事中、入浴中、トイレ中、何時起こることも分からない災害に、対応する事の難しさを感じる。夜間発生を想定し、日中に訓練を行ったのも大変だったと思う。しかし、訓練を積み重ねることで、見えてくるものがあると思うので、繰り返して行う必要がある様に感じた。 ・今後も、積極的な取り組みを期待する。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6月に実施した避難訓練の報告を受けました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの性格、生活歴などの違いから自然と声掛けをなどに違いが出てきます。毎日の生活の中で、その人へのNGワードやポイントを情報として共有していますが、自分では気づかないうちに不適切な言葉かけをしているときもあるので、ミーティングやその都度話し合うようにしています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の暮らしの流れは、その時の利用者さんの体調、天候をみて出勤者で話し合いながらすすめている。新聞を読みながら季節的な事柄や利用者さんが興味を持っていることなど話しながらその日にできることは叶えるようにしています。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのできることを把握し食材の下ごしらえ、おやつ作り、盛り付け、食器拭き、洗いなどを一緒に行なっています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べ物の好き嫌いやアレルギーのある方には、食材、調理法を変えて作っています。高齢となり皆さん水分摂取量が少なくなっています。時間帯、飲み物の種類をかえて、よく飲まれるものを記録していき、少しでも飲んでいただけるように気を付けています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きは、自分から行う人、声掛けが必要な方、拒否される方と様々です。自分から行っている方でも定期的に介助し入れ歯の状態を把握しています。入れ歯の状態が悪い方は歯医者さんに診てもらっていますが、これ以上の治療はできない方もいます。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の排泄のリズムを観察記録していくことで、声掛けの言葉やタイミングをみて支援しています。排便の確認がわかりにくいことがあります。入浴時の下着の状態、食事量の減少、おなかの張り具合などを観察していき、緩下剤など主治医に相談し、その方にあった予防策をとっています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本 2 日に一回でしたが、高齢となり入浴での疲労感、脱力感がみられるようになり、入浴の間隔をあけるようにしています。また、入浴前後のバイタル、水分補給、時間に気を付けています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	みんなが、思い思いの時間に休んでもらっています。声掛けしても昼間は横にならないと椅子でウトウトされるかたがいます。夕食後には、穏やかに眠りにはいれるように、居室の温度調整にも気を付けています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの内服薬の副作用、用法、用量は控えています。新しく処方された時には、連絡帳に注意事項、処方目的を記載して、ケア記録に変化があれば主治医に連絡しています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりのできること、好きなこと、得意なこと、苦手なことを把握することで、一日の中で家事、創作、レク、ゲームなどその人の笑顔がみられるよう支援しています。	・良い(出来ている)と思います。 ・施設見学时に本を読んでいる人、絵を描いている人を見かけましたが、好きな事をして、張り合いを持つ事は大変重要だと思います。 ・野菜作りなどは難しいでしょうか？ ⇒中には、中庭の畑で野菜を育てている方もいらっしゃいましたが、足(膝)の痛み等で継続できなくなっています。 ・個人の特性に配慮した取り組みができています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	屋外への外出支援はできていませんが、ドライブで気分転嫁を図り、季節を感じてもらっています。高齢で、屋外は車椅子移動の方が多くなり安全を考えると職員だけでは、難しくなっています。コロナ禍が落ち着き、ボランティアの受け入れができてくる時には、ボランティアさんに助けをいただいて外出ができればと思います。また、家族さんの力を借りて個々に外出ができればとおもっています。	・良いと思います。 ・今の状況では良く対応されていると思います。 ・コロナがあり、あまり出来ないのは仕方ないと思います。 ・お便りには、とても楽しそうな写真がたくさん掲載されています。今後も安全の確保を行ったうえで、お出かけが継続できれば良いのではと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基本お金は所持してもらってはいませんが、家族さんと相談して持っていた方がいます。お金を持っていないと食事代が払えないと心配され不安になられる方がいますが、事務所でお金を預かっていると伝えたと安心されます。お店に行き好きなものを買っていただき、お金を使うという支援をしたいと思いますが、地域性でお店が限られており、利用しにくいこともあります。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	電話で話すのは、耳が聞こえにくいため職員が中に入っています。ライン電話を活用される家族さんが増えてきているように思います。自分から、手紙を書くのは字を書くことに抵抗がある方が多いので、年賀状、暑中お見舞いは見本をみながら書いていただいています。できる限り続けていければと思います。			

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	混乱するため席には名前を貼っていますが、自分の名前をはがれる方がいます。名前をはいても自分の席には座られています。ホールには、季節の花を生けることで、話のつながりができ、笑顔がみられます。ホールにおいても席に着くだけでなく、ソファや畳み台など、思うところで休めるようにしています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外歩きをされたい方、居室で休みたい方、書き物をしたい方、創作をしたい方など本人のその日の気持ちや体調をみながら暮らせるよう支援していきます。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所の時に家族さんから話を聞きますが、子供さんもわからない事柄がたくさんあります。毎日の生活の中から、情報をとり記録していくことで共有しケアを深めていければと思います。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人一人の訴えを記録し、申し送りすることで身体の変化の状態に気づきます。異常を感じた時には、その経緯を報告し主治医につなげていきます。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	変化に気づき、主治医に指示を仰ぐなど、早目の対応をされていると思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に自宅での生活習慣、起床時間などをお聞きし、共同生活ではあるが入所されてからも習慣に沿った暮らしができるよう支援していきます。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時にもってきて頂いているが、その後必要なものがあれば、家族さんにお願ひし、自宅に取りに帰っています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域行事が開催されるようになってきているので、参加していければと思います。	☐ 良いと思います。 ☐ 秋祭りも行われる様なので、人込みを避けて、参加されたら良いと思います。 ☐ コロナ禍で、まだ参加できないのは仕方ないと思います。 ☐ なかなか、自宅にいても、ご近所の方等との交流は出来ていない様に思う。敷地内で他事業所の方との交流も楽しいのでは。 ☐ 制限のある中で、出来る範囲で取り組んでいる。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でなんでもできていると思っている方が多いので、その気持ちを踏まえて声掛けし、できにくいところを職員が支援してできた時の達成感を感じていただき笑顔で過ごしていただいています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の新聞音読を通じて会話を広げ、職員と短い時間でもマンツーマンで話をする時間をもつようにしています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動に、積極的に参加され、楽しまれている様です。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できていない。利用者さんも高齢であるが、地域の馴染の方も高齢となり交流が難しくなっています。	・良いと思います。 ・コロナがあるので慎重に検討する必要があります。 ・制限のある中で、今後も取り組みをお願いします。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所したことで、閉塞感、束縛間をどうしても感じていると思いますが、職員の関わり合いの中で「楽しかった。面白かった。」と笑顔で言葉があふれるよう支援していきます。	・良い(出来ている)と思います。 ・6月の施設見学で、利用者さんの楽しそうな様子、また、職員さんの会話にも信頼を感じました。良い関係性が築かれていると思いました ・久しぶりに施設訪問し、利用者が笑顔で本当に“我が家によこそ”と言った雰囲気が見えました。利用者さんは満たされていると感じ、訪問した私たちも満たされました。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

目標達成計画

作成日： 令和 5年 10月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	48	利用者さんの高齢化により身体機能の低下、認知の進行で、できていた創作や活動ができにくくなってきています。施設全体での活動が難しくなってきていることから、ひとりひとりに視点をあてその人一人の支援を考えていく。	個別ケアを作成し一人ひとりのQOLの向上をたかめていきます。	日々の生活の中だけでなく、改めてその方の馴染みの人や場所など地域資源を把握し、本人の心身の力が発揮でき、本人の持つ力を活用していき、ケアの見える化をしていくことでQOLの向上がわかりやすくしていく。一日の中では難しくても、月に一度は一人の方の時間をつくり笑顔で過ごしていただく時間を持ちます。	12ヶ月
2	25	毎年行っていた消火避難訓練もコロナが5類対応となったため、地域合同の避難訓練を再開し、地域との連携を深めていく。	繰り返し訓練を行うことで、職員一人ひとりが役割を確認し意識を深めていく。	年2回の消火避難訓練、地震・津波想定避難訓練を机上、実際に避難を行う訓練を定期的に行い、反省、気づき、問題点を話し合い訓練内容を深めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。